

資料3

令和4年12月8日
学校関係者評価委員会事務局

令和4年度 第1回学校関係者評価を踏まえた課題への取組み・改善の進め方

標記について、学内にて検討し、以下の方向で取組み及び改善を進めることを確認した。

- 1 学校の理念、教育目標
学校の理念、教育目標を点検継続しながら、方向性を明確に持って介護福祉士養成を継続する。
- 2 令和4年度の重点目標と達成計画
介護福祉士国家資格取得のため、一人ひとりの能力に応じ、個別の指導に力を入れていく。

3 評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

1-1-3 評定4【理念等に向け特色ある教育活動を取り組んでいるか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
国家試験合格率は全国平均を上回っているが、引き続き100%を目指したい。学生の中には学習経験豊富な職業訓練生もあり、中には高学歴な方もいる。	令和4年度については、2年生は後期に2コマ、1年生は後期に1コマを国家試験対策講座の授業として時間割の中に設け実施している。 また、2年生の国家試験対策講座では、学生交互に学習する

国家試験対策のところで、成績不振の学生が早朝や放課後にマンツーマンで学習したとあったが、それは先生方の指導によるものなのか、それとも学生の自主的なものだったのか。

学生が自主的に行ったものである。職業訓練生として入学した学習経験豊富な学生が、国家試験の合格が危うかった学生（高校新卒の入学生）に対し、早朝や放課後、また学校が休みの日にも熱心に指導してくれた。指導のおかげもあり、高校新卒の学生はもちろん、指導をしてくれた職業訓練生も無事に合格した。

吉川福祉は年配の学生が一定数おり、入学当初は高校新卒の学生との関係性が難しい部分もあったが、先生方が年代を問わずグループワーク等を実施してくれて良い雰囲気を作ってくれた。2年間の学習の中で、クラスの雰囲気作りは重要なことだと思うので、今後も吉川福祉のいい雰囲気作りに期待している。

時間を設け実施している。担任と係の学生でプランを作って実施している。本年度の実施を振り返り、より効果のあがるものにしていきたい。

基準2 学校運営
特になし

基準3 教育活動

3-8-1 評定4【学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
<p>国家試験の合格率を上げていきたい。令和3年度は、日本人学生は全員が合格、留学生は5人中2人が合格であった。留学生については、平成30年度以前の在籍はなかったが、今年度は2年生4人、1年生1人が在籍している。</p>	<p>留学生向けに週2日実施している日本語教育講座の手応えも感じられている。学力評価試験（模擬試験）では留学生全員が合格圏内である。気を緩めず、今年度は留学生を含めた受験生全員合格を目指したい。</p>

3-9-4 評定4【授業評価を実施しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
<p>税金に関することや防犯に関する講座、認知症サポーター講座等を実施している。授業評価アンケートは実施しているが、もう一歩先には進んでいない。</p> <p>コロナ禍で、介護施設でも職員本人が陽性もしくは同居家族が感染し、濃厚接触者扱いで職場を休まざるを得ない状況が発生しているが、学校では授業等に支障はでなかったのか。</p> <p>本校でも教職員や学生に数名の感染者が出たが、感染経路が学外だったため、学校を止める（学校を休校する）ことはなかった。</p> <p>学生が陽性や濃厚接触者となり学校を休んだ場合の、授業等のフォロー体制等はどうなっているのか。</p>	<p>授業評価アンケートについては、評価項目の検討をしていきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のための、遠隔授業システムの研究を進めている。学校のIT利用の推進に向けて、研修会を実施した。</p> <p>開催日：令和4年12月5日（月） 15：00～16：30</p> <p>講師：埼玉県立三郷高等学校 教頭 勝部 武先生 テーマ：「高等学校における教育のデジタル化の現状と今後の展望について」</p>

<p>非常勤講師の場合は、課題を出していただき対応した。また、専任教員の場合は、個別指導という形をとった。</p>	
---	--

<p>3-10-2 評定4【作品及び技術等の発表における成果を把握しているか】</p>	
--	--

<p>学校関係者評価委員会での意見・課題</p>	<p>意見・課題への取組み及び改善の進め方</p>
<p>卒業研究発表会は、2年間でここまで成長するのかというくらいの中身になっている。中には卒業後、介護分野での発表に取り組む卒業生もいる。</p> <p>卒業研究発表会（事例研究）に関して、2年間で成長している成果がみられる。基礎があるから介護のPR隊で資料の作成があっても充実したものをつくれる。すばらしいと思う。</p> <p>研究論文としては基礎の基礎になり、研究報告書レベルであるものの意欲が下がるので研究論文ということで実施している。学生には「今日から皆さんは研究者です」と言って気持ちを高めている。学生も考察を書きまとめを書くころには研究者の顔になってくる。学生には自分の論文を大勢の前で発表する達成感を味わってもらいたいと思っている。そのためにも、1年生から卒業研究発表会に参加させ、来年の自分を想像してもらおう機会としている。</p> <p>こういった経験をすることで、就職先でいろいろなことを考えてくれる職員になってくれるのではないか。とてもよい成果物学習だと思う。</p>	<p>2年間の学びの集大成として実施している卒業研究が、より充実した内容になるよう引き続き指導に力を入れていきたい。</p> <p>ここ数年、新型コロナウイルス感染防止のため、学生と専任教職員のみで開催してきた卒業研究発表会を、介護実習施設の方や非常勤講師等も招待して実施したい。</p>

基準4 学修成果

4-13-1 評定4【就職率の向上が図られているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
<p>就職率は100%であった。将来的には、同窓会組織の立ち上げも検討したい。</p> <p>就職先について、有料老人ホーム・福祉関連企業3名とあるが、実際どのような形態なのか。</p> <p>今回の3名は、全員が有料老人ホームへの就職者である。毎年ではないが、福祉用具レンタル会社等に就職する学生もいる。</p> <p>今後の職員採用の参考に、学生が就職先を選ぶ時、どういった点を重視し優先しているかを知りたい。また、就職指導の際、例えばアクセス、設備、規模、特養・老健など、指導するポイントなどがあれば教えてもらいたい。学生さんにアンケートをとっていただき、情報を提供してもらえると助かる。</p> <p>私が学生に指導するときは、正社員として長く勤めてもらいたいので、通勤時間や仕事量に見合った給料、キャリアアップの研修があるかどうかなども参考にしている。また、職業訓練生の中には小さいお子さんをお持ちの学生もいるので、お子さんを預けられる場所の有無なども調べている。アンケートについては今後検討し、結果をフィードバックしていきたい。</p>	<p>授業や個別面談等を通して、常に就職を意識させている結果、昨年度も高い就職率が確保できた。今年度も100%の就職率と就職後の定着率を上げられるよう、就職先のミスマッチを防ぐ教育活動に取り組んでいく。</p> <p>学生が就職先を選ぶポイント等を整理し、キャリア教育に力を入れていきたい。</p>

基準5 学生支援

5-17-1 評価3【退学率の低減が図られているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
入学後のミスマッチ等もあり退学者が出てしまう。今後の課題のひとつである。	退学の要因（欠席状況・学習態度・交友関係等）を早期に把握し、学生支援に取り組む。

基準6 教育環境

6-22-1 評価3【教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか】	
学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
<p>高校では、プロジェクターはほぼ天吊りであるが、本校では可動式のみでの設備である。高校のデジタル教材について教えていただきたい。</p> <p>高校の教育現場では激しい動きがあった。特にコロナ禍で授業のスタイルが変わった。黒板に板書し知識や技能を伝達するという授業スタイルから、生徒自身が考える思考や表現力、判断力を身につけられる授業スタイルに移行してきている。生徒一人ひとりの躓いている部分を解決するために「個別最適な学び」という言葉を使うことがあるが、生徒1人ひとりが止まる場所は違っている。「共働」という学びあうことが重要視されてきている。最近では、小学生から個人にタブレット端末で授業展開することが普通に行われている。ギガスクール構想やこれからの教育を考える時に、端末を使って協力し課題を解決する時代にきている。本校でも1年生からタブレットを購入してもらっている。調べ学習はもちろん、調べたものを使いなが</p>	<p>高等学校における教育のデジタル化の現状と今後の展望についての研修会を実施する。</p> <p>開催日：令和4年12月5日（月） 15：00～16：30</p> <p>講師：埼玉県立三郷高等学校 教頭 勝部 武先生 テーマ：「高等学校における教育のデジタル化の現状と今後の展望について」</p>

<p>ら活用しお互いが協力して課題を解決していく。これからは、よりタブレットを使って学びを共有しながらやっていく時代がくるのではないか</p>	
---	--

基準7 学生の募集と受け入れ

<p>7-25-2 評定4【学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか】</p>	
<p>学校関係者評価委員会での意見・課題</p>	<p>意見・課題への取組み及び改善の進め方</p>
<p>学校見学者の受験率は8割近い。東北地方や中部地方など、遠方からの入学生も数名いる。また、学生募集に絡めた動画配信にも取り組んでいる。</p> <p>学校見学に来た生徒さんには、本校以外に複数校見学に行ってくださいと伝えている。</p>	<p>今年度の全国の介護福祉士養成校（314校）の定員充足率の平均は54.6%（昨年度は55.1%）と、介護福祉士養成校の募集活動は全国的に依然厳しい状況である（本校の今年度入学生の定員充足率は82.5%）。</p> <p>本校の次年度に向けた学生募集活動は、高校新卒者については過去6年間では最高である。昨年並みに職業訓練生の応募があれば定員充足も見込めるものの、職業訓練生については、募集方法等が一部変更になり、昨年度よりも厳しい状況も想定される。引き続き積極的な募集活動に努めていく。</p>

基準8 財務

特になし

基準9 法令等の順守

特になし

基準10 社会貢献・地域貢献

特になし